

令和2年度 一般廃棄物処理施設維持管理状況の情報の公表

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第9条の3第6項の規定に基づき、維持管理に関する情報を公開します。

施設名称 公立 中部上北清掃センター  
 設置場所 青森県上北郡東北町字乙供72番地  
 設置者名 中部上北広域事業組合 管理者 小又 勉  
 問合せ先 中部上北環境衛生管理事務所 TEL 0175-63-2336

設置又は変更の許可申請書等に記載すべき事項

一般廃棄物処理施設の設置の場所	青森県上北郡東北町字乙供72番地		
一般廃棄物処理施設の種類	ごみ処理施設(焼却施設)		
一般廃棄物処理施設設置届出の年月日	平成11年5月7日	設置届受付月日	平成11年5月7日 十和田保健所 第247号
処 理 対 象 範 囲	七戸町、東北町		
処 理 方 式	全連続燃焼式		
放流水の水量及び水質	無放流		
残 灰 等 の 処 分 方 法	飛灰セメント原料化		
投 入 設 備	ごみクレーン(バケット容量 1.2m <sup>3</sup> ×2基) ビット容量(702m <sup>3</sup> )		
排煙及び排水の処理方法	排煙	バグフィルター集じん方式	排水 凝集沈殿法(クローズドシステム)
燃 焼 設 備	流動床式熱分解ガス化溶融炉 30t/日×2基 燃焼温度 1,150~1,300℃		
灰 処 理 形 式	ガス化溶融(ごみ保有熱+燃焼式)	処理対象	飛灰(旋回流式) 煙突 高さ 40m 口径 0.5m 2基
排 ガ ス 設 備	半ボイラ式 ガス冷却方式 ボイラ水噴霧併用		
そ の 他 設 備	通風設備	押込送風機	排風設備 誘引送風機 助燃設備 A重油バーナー

当該一般廃棄物処理施設の維持管理状況に関する情報

1. 一般廃棄物の種類及び搬入量

ごみ種類(単位:t)	年度計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
可燃ごみ	8,546.29	708.39	715.98	768.18	725.63	811.98	731.48	732.39	689.82	686.30	634.54	568.07	773.53
処理残渣	95.34	8.29	5.92	9.81	7.82	8.14	10.55	12.37	7.94	5.81	4.79	5.05	8.85
脱水汚泥等	1,420.60	146.10	96.80	96.46	140.70	146.16	144.36	58.64	140.93	118.29	89.27	105.54	137.35
合計	10,062.23	862.78	818.70	874.45	874.15	966.28	886.39	803.40	838.69	810.40	728.60	678.66	919.73

2. 熱灼減量、燃焼ガス温度等

項目	単位	規制値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
測定年月日	—	—	27日	23日	17日	30日	11日	11日	14日	13日	21日	21日	17日	12日
熱灼減量	%	10%以下	6.5	7.4	7.0	4.7	8.6	9.1	5.6	7.3	8.0	2.6	6.0	3.4
燃焼室内燃焼ガス温度	℃	800℃以上	1,233	1,207	1,215	1,213	1,162	1,198	1,273	1,208	1,221	1,251	1,233	1,222
集塵器内燃焼ガス温度	℃	200℃以下	180	179	180	181	175	180	180	180	173	180	180	180
ばい煙(一酸化炭素)	ppm	100以下	84	48	44	41	49	88	70	72	59	53	61	72

3. 2系焼却炉 排ガス測定結果

		単位	測定回数	基準値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
月別焼却量		t	—	—	1,045.4	354.4	659.5	1,047.2	456.0					389.7	593.0		4,545.2	
排ガス	ばい煙濃度																	
	採取日	—	—	—					11日						1日			
	採取場所	—	—	—					煙突入口						煙突入口		自主規制値	
	分析結果取得日	—	—	—							2日				17日			
	検査結果	ばいじん	濃度	g/m <sup>3</sup> N	2回/年					0.001						0.002		0.01
			12%換算値	g/m <sup>3</sup> N	2回/年	0.15				0.002						0.001		
		硫酸化合物	濃度	volppm	2回/年	k値=17.5				2						2		20
			排出量	m <sup>3</sup> /h	2回/年	450				0.009						0.02		
		窒素化合物	濃度	volppm	2回/年					機器不調のため再測定			83			120		150
			12%換算値	volppm	2回/年	250							120			110		
塩化水素	濃度	mg/m <sup>3</sup> N	2回/年					9						5		50		
	12%換算値	mg/m <sup>3</sup> N	2回/年	700				13						5				
水銀	1回目	µg/m <sup>3</sup> N	2回/年	粒子+ガス=30以下				0.21						<0.1				
	2回目	µg/m <sup>3</sup> N	2回/年	粒子+ガス=30以下				0.32						<0.1				
DXN	採取日	—	—	—					11日						1日			
	採取場所	—	—	—					煙突入口						煙突入口			
	分析結果取得日	—	—	—					9月11日						3月15日			
	分析結果	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	1回/年	5					0.018						0.0650		0.1	

4. 3系焼却炉 排ガス測定結果

		単位	測定回数	基準値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計		
月別焼却量		t	—	—		393.0			497.4	944.8	506.3	903.1	977.4	379.6		923.0	5,524.6		
排ガス	ばい煙濃度検査結果	採取日	—	—		25日							21日						
		採取場所	—	—		煙突入口								煙突入口				自主規制値	
		分析結果取得日	—	—	—		6月8日							1月15日				0.01	
		ばいじん	濃度	g/m <sup>3</sup> N	2回/年			0.001							0.002				
			12%換算値	g/m <sup>3</sup> N	2回/年	0.15		0.001							0.002				
		硫黄酸化物	濃度	volppm	2回/年	k値=17.5		17							16				20
			排出量	m <sup>3</sup> /h	2回/年			0.12							0.13				
		窒素酸化物	濃度	volppm	2回/年			99							130				150
			12%換算値	volppm	2回/年	250		110							120				
		塩化水素	濃度	mg/m <sup>3</sup> N	2回/年			15							5				50
			12%換算値	mg/m <sup>3</sup> N	2回/年	700		17							5				
		水銀	1回目	μg/m <sup>3</sup> N	2回/年			<0.1							0.38				
2回目	μg/m <sup>3</sup> N		2回/年			<0.2							0.28						
D X N	採取日	—	—	—		25日							21日						
	採取場所	—	—	—		煙突入口							煙突入口						
	分析結果取得日	—	—	—		6月29日							2月10日						
	分析結果	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	1回/年	5		0.00063							0.00043				0.1		

5. スラグ、燃えがら、溶融飛灰ダイオキシン類測定結果

区分	項目	単位	測定回数	基準値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
スラグ	採取日	—	—	—		25日										
	採取場所	—	—	—		バンカ										
	分析結果取得日	—	—	—			29日									
	分析結果	ng-TEQ/g-dry	1回/年	3			0(<0.1)									
燃えがら	採取日	—	—	—		25日										
	採取場所	—	—	—		バンカ										
	分析結果取得日	—	—	—			29日									
	分析結果	ng-TEQ/g-dry	1回/年	3			0(<0.1)									
溶融飛灰	採取日	—	—	—		25日										
	採取場所	—	—	—		バンカ										
	分析結果取得日	—	—	—			29日									
	分析結果	ng-TEQ/g-dry	1回/年	3			0.74									

6. 冷却設備及び排ガス処理設備からでる溶融飛灰セメント資源化のため運搬を行った年月日

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
溶融飛灰	1回目	8日	13日	2日	13日	12日	10日	12日	10日	11日	8日	18日
	2回目	24日		26日	29日	24日	25日		26日	25日		31日
	3回目											
クリンカ(塊)	1回目		1日	4日		20日		2日	12日			9日
	2回目		28日			25日		21日	26日			
	3回目							23日				
	4回目							30日				

※溶融飛灰は、稼働中、随時排出され灰バンカからセメント原料化のためフレコンに集積後、搬出される。 ※クリンカは、資源化不適のため、むつ市青森グリーンへ搬出される。